

JOCジュニアオリンピックカップ 2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 ～選手権大会要項～

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 スポーツ庁 (公財)日本オリンピック委員会 横浜市 (公財)横浜市体育協会
 朝日新聞社
 協賛 (株)ササキスポーツ セノー(株) コカ・コーラ ポトラーズジャパン(株)
 リコージャパン(株)

1. 期 日 2019年8月13日(火) 2部リーダー会議及び審判会議 開始式
 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 14日(水) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 15日(木) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 2部表彰式 1部リーダー会議及び審判会議
 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 16日(金) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 17日(土) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 1部表彰式 閉会式

2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区分	男子	女子
年会費	2019年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に2019年度の登録を済ませた者	
選手権1部	①中学2年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成18年4月1日までの間に生まれた者) ②前年度上位4チーム、チーム内選手を含む個人シード 24位は最終日最終班、前年度上位5位～8位チームは 最終日前日の最終班、但し参加人数によって最終日朝 一班とする。 ③1クラブ最大出場6名(チーム4名/ベスト3+個2) ④補欠は最大2名 ※個人はチーム補欠と兼ねても良い。 ※正選手6名(チーム4名/個人2名)、補欠2名 をエントリーした場合、補欠はあくまでも補欠 であり、チーム或いは個人との入れ替えのみ できる。 ※チーム、並びに個人選手の最終決定は、前日 公式練習終了後10分以内に書面にて 事務局に提出すること。変更がない場合 は提出不要、したがって時間内に提出がな い場合の変更は認めない。 ⑤個人出場の際は1クラブにつき最大2名	①小学6年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成20年4月1日までの間に生まれた者) ※小学6年生の出場選手については、全日本選手権大会の団体及び個人総合 出場年齢下限が平成19年12月31日生までとなっているため、早生まれの選手 は対象外となる。 したがって成績が通過圏内であっても予選通過にはならず、全日本ジュニア大 会の成績のみとなる。 ②前年度上位4チームは最終日の最終班、また、前年度 上位5～8位チームは最終日朝I班とする。個人シード 選手12名は、上位6名は最終班、残りの選手につ いては朝I班とする。シード選手の数が12名に満たない 時は、フリー抽選とする。 ③1クラブ最大出場6名(チーム6名/ベスト5) ④チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可、ただし、 個人シード選手(優秀選手)はこの限りではない。) ⑤本連盟推薦の個人シード選手12名(個人出場可) ⑥個人出場の際は1クラブにつき最大4名 ⑦全日本選手権予選も兼ねているため、CR 2.0 (跳馬を除く3種目)獲得できる者 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。
選手権2部	①中学1年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成19年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場4名(チーム4/ベスト3) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大2名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。 1クラブにつき1・2部の大会で最大10名の 参加が認められる。	①中学3年生から高校3年生 (平成13年4月2日～平成17年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場5名(チーム5/ベスト4) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大3名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。 1クラブにつき1・2部の大会で最大6名の 参加が認められる。
参加枠	1クラブにつき1・2部の大会で最大10名の参加が認められる。	
その他	①医師または保護者の承諾を得ること。 ②団体及び個人選手の資格はその範囲とする。 ③本年度東西ジュニア選手権に出場した者は出場できない。	

2019年4月現在

4. 適用規則及び競技方法

※すべてに於いて「FIG競技規則」を適用する

区分	男子	女子
選手権1部	2017年版採点規則を適用する。(最新号を準用) (団体総合兼個人総合及び種目別)	2017年版採点規則を適用する。(最新号を準用) (団体総合兼個人総合及び種目別)
選手権2部	高体連採用の採点規則(一部変更ルール)を適用する。(団体総合兼個人総合及び種目別) (10技→8技)	2017年版採点規則変更規則Iを適用する。 (団体総合兼個人総合及び種目別)

5. 選手権2部前日練習について

参加人数の増加に伴い、男女選手権2部の前日練習をなくすこととする。

6. 全日本選手権への出場資格について (資料後日送付)

(公財)日本体操協会からの通達により男女とも次の枠内で全日本選手権への資格が与えられる。

7. 器具基準

別添資料参照のこと。

8. 表彰

団体総合/個人総合/種目別各々1～3位/メダル・賞状及び副賞、4～6位/賞状及び副賞

9. 申込締切

申込書(統括表と個人申込書の両方)に必要事項を記入し、参加料を添えて6月20日(木)必着で現金書留にて送付のこと。 ※締切日以後は受付けない。

(宛先)〒103-0027 東京都中央区日本橋1-16-6 久富ビル4階

(一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟

10. 抽選

2019年7月2日(火)18:30より抽選会を行い演技順を決定する。

* 抽選会に参加を希望するクラブは申込締切日までに事務局へ申し出ること。

【※抽選結果は7月5日(金)までに発送予定、それ以前の電話等による問い合わせは不可とする】

11. 参加料

区分	男子	女子
団体出場	1部 1団体 40,000円 2部 1団体 40,000円	1部 1団体 60,000円 2部 1団体 50,000円
個人出場	1名あたり10,000円	

12. 帯同審判

(1)選手権(1部・2部)団体出場クラブは1種の帯同審判を派遣すること。ただし、女子競技は女性に限る。

※帯同審判員は必ず(公財)日本体操協会 Web 登録を完了している者に限る。

(2)帯同審判を派遣できないクラブは審判委託費(1部・2部/70,000円)を納入のこと。

(3)【女子】帯同審判員が多い場合、D2審判員は選出し、それ以外はアシスタントを含むフリー抽選とする。

※ (4)【女子】今年は2020年選手権1部大会の予選となっているため、女子Aクラス並びに選手権2部大会の成績を並べて上位24名が資格を得る事となる。両クラスが公平に採点をされるようにするため、特例として選手権2部の帯同審判員にはAクラスの審判もお願いする。
(2部帯同審判員の前日の宿泊とAクラス日当は連盟で負担する)

※ (5)【男子】男子帯同審判員は審判本部により審判編成される。
帯同審判員が多い場合は、D審判並びにアシスタントに配置される場合がある。

13. その他

- 参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
- チームには最大2名までのコーチをつけることができる。(男性・女性のいずれでも可)
- 大会期間中に発生した傷害についてはその責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
- 宿泊については宿泊要項にて希望者のみ申し込むこと。(先着順)
- 申込書が不足の場合は各自コピーをして使用すること。
- 参加選手のゼッケンは事前に送付される。
- 参加者数の増減により日程に変更が生じる場合がある。
- 女子ゆかの伴奏音楽は音楽CDのみとする。(使用する1曲のみ)

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

「大会写真の取り扱いについて」

大会期間中に撮影された写真は、当連盟ホームページ、大会ポスター、プログラム及び大会報告書、広報誌等に掲載されることがあります。ご了承ください。